

eduroam 利用方法

1 個人での利用（金沢大学の教職員・学生）

eduroam を利用するには、eduroam 用のアカウント（ID/パスワード）が必要です。

📧 アカウント取得方法

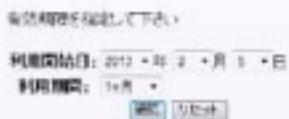
eduroam 用のアカウント申請は GakuNin 提供サービスのひとつである「eduroam 仮名アカウント発行システム (Eduroam-Shib)」で行います。

● Eduroam-Shib [<https://eduroamshib.nii.ac.jp/>]

1. Eduroam-Shib にアクセス
2. 金沢大学を選択



3. 図1の学認用 KU-SSO 認証画面が表示されるので、金沢大学 ID でログイン
4. 「新規アカウント発行」をクリック
5. 有効期限を設定し、「確認」をクリック



6. 有効期限を確認して「申請」をクリック
7. eduroam 用アカウントが発行されます

📧 eduroam 設定方法

多くの機器では SSID 「eduroam」を選択し、取得したアカウント（ID / パスワード）を入力するだけで利用できます（詳細は eduroam JP のサイトを参照）。

2 団体での利用（学内開催の研究会等で利用）

総合メディア基盤センターでは、本学で開催される学会や研究会等に来場される学外研究者等に、eduroam を使って無線 LAN 接続が可能なゲストアカウントを発行しております。eduroam は学外ネットワーク扱いになりますので、金沢大学内のサービスにはアクセスできないため安全です。（所属機関を通じて eduroam 用アカウントを取得済みの方はそのアカウントで接続可能です。）
※団体アカウントの発行につきましては総合メディア基盤センターパソコン相談カウンターまで御相談ください。



お問い合わせ

総合メディア基盤センター パソコン相談カウンター
URL : <http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/contact>



info. Core #21 PRESS 2013 3 March



金沢大学 総合メディア基盤センター

〒920-1192 石川県金沢市角間町 imc-jimu@ml.imc.kanazawa-u.ac.jp
<http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp>

info. Core PRESS のバックナンバーは、
総合メディア基盤センター Web サイトからご覧いただけます。

- » GakuNin
 - GakuNin とは？
 - ログイン画面について
 - 利用可能なサービス
- » eduroam
 - eduroam とは？
 - eduroam で何ができるの？
 - eduroam 利用可能場所
 - eduroam 利用方法

学認 (GakuNin) ～学術認証フェデレーション～

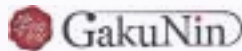
GakuNin とは？

学認(がくにん)とは、『学術認証フェデレーション』の略称で、大学・高等等の高等教育機関やサービスを提供する出版社・IT企業等で構成される連合体です(GakuNinは愛称です)。フェデレーション加盟の承認を受けた機関同士が認証連携を実現することで、他大学や商用のサービスを利用する際に、所属機関から発行された利用者IDで1回認証すれば、ブラウザを閉じるまでサービスが利用できる環境(シングルサインオン)を実現します。

GakuNinに関する詳しい情報は以下をチェック！

● GakuNin 公式サイト

<https://www.gakunin.jp>



ログイン画面について

GakuNin 利用の際は、利用者の所属機関が提供する認証システムを使うため、ログイン画面は機関ごとに異なります(認証時に所属機関名をユーザが選択)。金沢大学のログイン画面は図1のようにアカンサスポータル等の学内サービス向け認証画面とはほぼ同じですが、**学内用は青色**、**GakuNin用は緑色**です。ログインIDは金沢大学IDです。

【重要！】 金沢大学IDとパスワードは、「金沢大学統合認証システム(KU-SSO)」画面だけで使用し、他のサイトの認証画面では絶対に入力しないでください。



図1 学認用ログイン画面(金沢大学)

利用可能なサービス

GakuNinでは様々なサービスが提供されています。以下に一例を示します(サービスの最新情報は、GakuNinの公式サイトで御確認ください)。

● 電子ジャーナル/データベース

GakuNinで認証を行えば、VPNに接続することなくScienceDirect, Scopus, CiNii等の電子ジャーナル/データベースを閲覧することができます。

(注) 金沢大学が契約しているものに限ります。

● Microsoft DreamSpark【学生限定】

Windows ServerやVisual Studio等、包括ライセンスで利用できないソフトウェアを利用できます。

● Fshare [<https://fshare.sinet.ad.jp/>]

Fshareは大容量ファイル転送サービスで、複数の利用者に対してファイルを送信できます。

● FaMCUs [<https://mcus.nii.ac.jp/>]

FaMCUsはテレビ会議用MCU(多地点同時接続装置)利用サービスで、多地点を同時接続したテレビ会議が可能です。

● ARCADE [<https://arcade.cis.kanazawa-u.ac.jp/>] (学術組織間デジタル資料分散共有システム)

ARCADEは金沢大学が提供するファイル共有ソフトウェアです。図2のように、共通するグループを作成することで、異なる機関に所属するユーザ同士でも、GakuNin加入機関であればARCADEを利用してグループ領域にあるファイルの閲覧やアップロード・ダウンロードが可能になります。

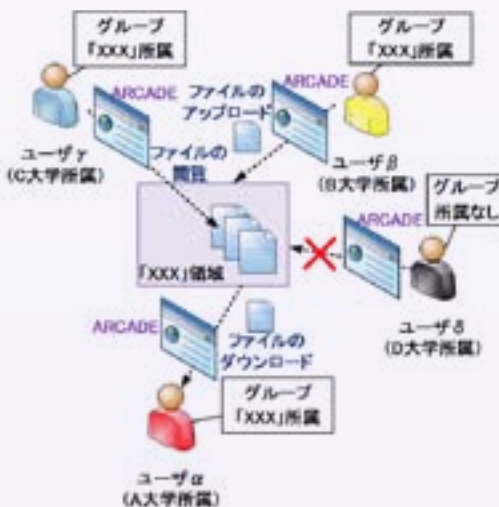


図2 ARCADE利用モデル例

eduroam

～国際無線LANローミング基盤～

eduroam とは？

eduroam(エデュローム)とはeducation roamingの略称で、教育・研究機関用の無線LANローミング基盤です。現在、欧州約40か国に加えて、オーストラリア、中国、台湾、香港、日本、ニュージーランド、カナダ、米国、ロシアなどが加盟しており、キャンパス無線LANの国際的なデファクトスタンダードになっています。

eduroam で何が出来るの？

☞ 学生や教職員が訪問先機関でもネットワーク利用可能！

- ・ 現地スタッフの手を借りずに、無線LANによる高速ネットワークがいつでも自由に、**無償で利用**できます。
- ・ 全世界どこでも、ほぼ同じ接続手順です。国内における利用と何ら変わりなく、海外の参加機関でも自由に無線LANが利用できます。

☞ 様々な種類の機器をサポート！

- ・ Windows PCやMacはもちろん、iPhoneやAndroidなどのスマートフォン、タブレット、Linuxなど、幅広い端末および環境で利用可能です。
- ・ 端末の多くは、一度の初期設定のみで良く、サービスエリア内に入ると自動的にネットワークに接続されます。

eduroam 利用可能場所

● 金沢大学キャンパス内

角間、宝町、鶴間各キャンパスのほとんどの建屋内で利用可能です。

● 日本国内

京都大学や東北大学など43の大学・研究所などで利用可能です。

● 海外

ヨーロッパを始めとし、59カ国で利用可能です。

eduroamに関する詳しい情報は以下をチェック！

- eduroam JP
<http://www.eduroam.jp/>

